

■ 史実を語り継ごう “引き揚げのまち 舞鶴” 献茶式 …平成22年9月7日(火) 17:30-

1958年(昭和33年)9月7日の引揚最終船「白山丸」が入港するまで、海外から約66万人の引き揚げ者と1万6千余柱を、ここ舞鶴港で迎え入れました。この間市民らは、「おもてなし」の心で引き揚げ者を出迎え、茶道・華道教授の故木村千代子氏がお茶を入れたり、その後も引揚記念公園で献茶を続けてきました。

献茶式には約120名が参加し、興安丸の時鐘を鳴らして開式。裏千家淡交会両丹支部、表千家紫友会、藪内流竹風会が献茶をし、齋藤彰市長、市立大浦小学校児童代表などがメッセージを読み上げました。

参加者には、お茶が振る舞われ、祖父の戦争体験や満蒙開拓団の女性を歌ったシンガーソングライター 清水まなぶ のミニライブ、行灯によるイルミネーションが行われました。



各流派による献茶



児童からのメッセージ



清水まなぶ ミニライブ



イルミネーション